



TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY

東京都立大学

2023 年度

東京都立大学大学院 経営学研究科

経営学専攻 博士後期課程

東京都立大学
経営学研究科
博士後期課程

大学院
経営学専攻

Graduate School of
Management
Doctoral Program

研究科長からのメッセージ

経営学研究科博士後期課程は、独創的かつ最先端の学問領域を切り開く自立した研究者、および国内外の民間部門や公共部門で卓越したリーダーとして活躍する実務家を養成します。本研究科は経営学・経済学・ファイナンスの各分野において第一線で活躍する研究者を擁しており、指導教員を中心とした博士論文指導委員会がチームとなって高度で親身な指導をおこないます。学生はロードマップに従って効率的に博士論文の執筆を進めることができます。社会人学生も多く在籍しており、研究指導は学生の時間的な都合に可能な限り対応して行われ、長期履修などの制度も充実しています。学問への高い志と意欲を持った学生が集うことを期待しています。



取得できる学位

博士（経営学）、博士（経済学）

授業担当教員 2022年4月現在

教授		准教授	
氏名	研究分野	氏名	研究分野
浅野 敬志	財務会計、企業価値論	荒戸 寛樹 ^{※2}	マクロ経済学
朝日 ちさと	政策評価研究	井澤 龍	西洋経済史
足立 高徳 ^{※1}	数理ファイナンス	小方 浩明	統計学
飯村 卓也	ミクロ経済学	加藤 崇徳	経営組織論、経営戦略論
岩間 俊彦	社会経済史	金子 憲	財政学
内山 朋規	資産価格理論	小林 延人	日本経済史
桑田 耕太郎 ^{※1}	経営学、組織論	高橋 勲徳	ビジネスイノベーション
芝田 隆志	コーポレートファイナンス	竹内 祐介	アジア経済史
高尾 義明	経営組織論	竹原 浩太	オプションプライシング
竹田 陽子 ^{※1}	イノベーション戦略論	西村 孝史	人的資源管理論
田中 敬一	数理ファイナンス	松尾 隆	経営戦略論
長瀬 勝彦 ^{※2}	意思決定論	松岡 多利思	理論経済学
中山 厚穂	マーケティング・サイエンス	森口 聰子	数理計画法
野口 昌良	財務会計	森本 脩平	ミクロ経済学
細海 昌一郎	管理会計	八木 恭子	金融工学
増山 博之	応用確率論		
松田 千恵子	経営・財務戦略、資本市場論		
水越 康介	マーケティング		
宮本 弘暁	労働経済学		
室町 幸雄	金融リスク管理		
森 治憲	統計学		
山下 英明	オペレーションズ・リサーチ		
吉羽 要直	金融データサイエンス		
脇田 成	マクロ経済学		
渡辺 隆裕	ゲーム理論		

特徴

■ 経営学を中心とした専門分野の高度な教育研究

連携性を有する経営学・経済学・ファイナンスの分野で高度な教育研究を展開しています。

■ 高い専門性をもつ教員による丁寧な研究指導

一人一人の学生ごとに博士指導委員会を結成し、組織的に研究指導を行います。

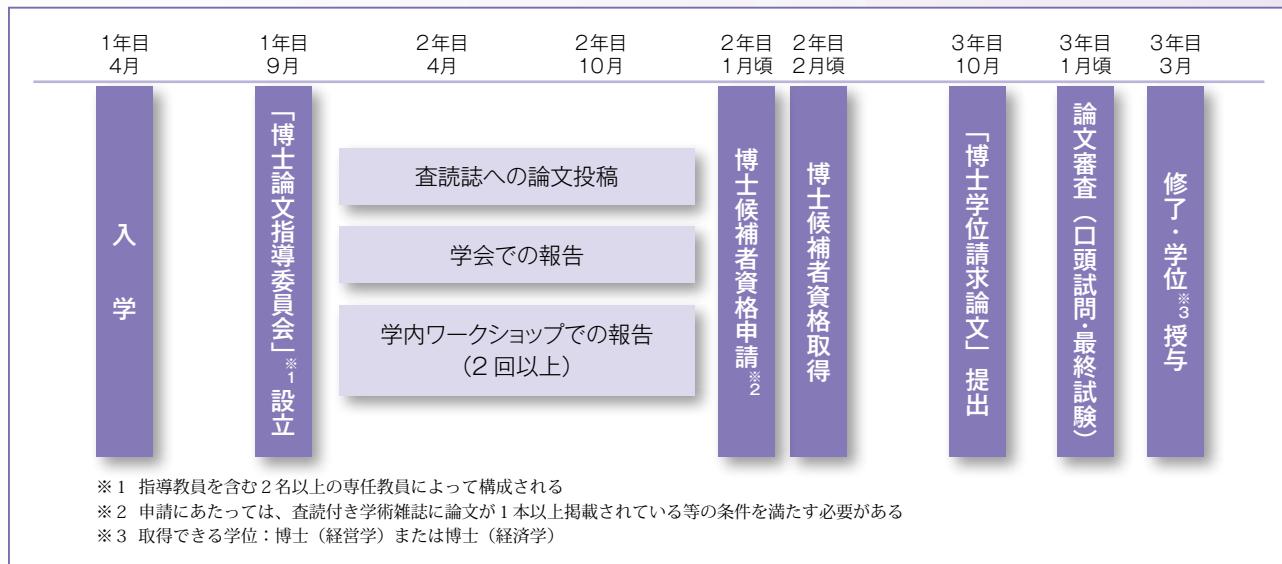
■ 2つのキャンパスの柔軟な活用

南大沢キャンパス・丸の内サテライトキャンパスそれぞれの特徴を活かした学修が可能です。

■ 学生の事情に合わせた修学年数の設定

仕事への従事、出産・育児や介護等の事情があれば長期履修制度を活用できる一方、特に優れた研究業績が認められれば、修業年数を短縮する早期修了制度の適用も可能です。

博士号取得までのロードマップ[†] (修業年数 3 年、4 月入学のケース)



研究のためのリソース

学内外から EBSCOhost(Business Source Elite)、JSTOR、ScienceDirect などの各種オンライン・ジャーナルが利用可能です。膨大な学術文献を検索、閲覧、ダウンロードして研究を進めることができます。また、南大沢キャンパスの図書館、丸の内サテライトキャンパスの図書スペースには、多数の和洋専門書、ジャーナルが開架されています（丸の内サテライトキャンパスから、南大沢キャンパスの文献の貸し出し申し込みを行うことができます）。

博士後期課程在学学生へのさまざまな支援制度

■ 長期履修制度

職業を有している、あるいは、出産・育児介護など特定の事情がある方を対象に、標準修業年限（3 年）を超えて一定の期間（最長 6 年）にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを認める制度です。入学前または各年度の所定期間に申請できます。

■ 早期修了制度

特に優れた研究業績が「早期修了判定委員会」で認められると、標準修業年限（3 年）を最大 2 年短縮[※]して学位審査を受けることができます。審査に合格すると博士の学位を取得して課程を修了します。

※ 博士前期課程（修士課程）を 1 年で修了した方は最大 1 年短縮できます。

■ 各種奨学金制度

日本学生支援機構（JASSO）や民間・地方公共団体による奨学金のほかに、博士後期課程研究奨励奨学金、大学院生支援奨学金といった本学独自の給付型奨学金制度も設けています。

■ 授業料の減免・分納制度

経済的理由等により授業料の支払いが困難な学生等を対象に、授業料を減額または免除（減免）する制度があります。また、各期の授業料の一括納付が困難な方は、半期ごとの 3 回の分割納付（分納）制度が利用できます。

学費

授業料 ^{※1}	入学料 ^{※2}	
	東京都の住民 ^{※3}	その他の住民
520,800 円	141,000 円	282,000 円

※ 1 在学中に授業料が改定された場合、改定後の金額が適用されます。

※ 2 本学の博士前期課程修了者又は修了予定者のうち、前期課程修了から後期課程入学までの期間が 6 ヶ月以内である場合は、入学料及び入学考査料を免除します。

※ 3 本人又は配偶者若しくは一親等の親族が入学の日の 1 年前から引き続き東京都内に住所を有する方が対象です。

修了生の声

私は都内の企業に勤めながら2014年に首都大学東京（当時のビジネススクール）に入学しました。入学当初は博士後期課程に進学することを全く考えていましたが、長瀬勝彦先生の「意思決定論」の授業を受講して、意思決定論の奥深さと面白さに魅了され、博士後期課程に進学することを真剣に考えるようになりました。博士後期課程に進学する目的は人によって様々だと思いますが、私は意思決定の分野で大学教員になることを目標として博士後期課程への進学を決めました。しかし、私にある程度の年齢に達していて、かつ、家族がいる場合は、仕事を辞めて博士後期課程に進学するのはあまりにもリスクが大きいと思います。そのような家族持ちの社会人にとって、長期履修制度などを利用して働きながら通うことができる本学の博士後期課程は大変魅力的なプログラムでしょう。実際、学内には私と同じように働きながら博士号取得と大学教員へのキャリアパスを目指している社会人学生が何人もいました。そのような仲間達と情報交換しながら切磋琢磨できる環境は、他の大学に見られない大きな特徴だと思います。

本学の博士後期課程における最大の魅力は、何と言っても高い専門性に加えて思いやりに満ちた先生方の存在でしょう。博士後期課程では、学会発表や論文投稿など様々なことに挑戦していくことになりますが、挑戦がうまくいかなかった時でも、いつも先

生方は何をどのように改善すべきか的確に助言してくれました。私が博士号を取得して大学教員のキャリアパスを切り開くことができたのは、指導教員の長瀬勝彦先生をはじめ、色々な形でご指導とご助言をしてくださった先生方のおかげです。

私は、本学のビジネススクールと博士後期課程を選んで本当に良かったと心から思っています。みなさんも本学の博士後期課程に進学して、魅力的な先生方や仲間と出会えば、同じ思いを抱くはずです。そのような出会いは、きっと人生においてかけがえない財産になるでしょう。

松井亮太さん

2014年 首都大学東京大学院
社会科学研究科経営学専攻
修士前期課程（ビジネススクール）
修了

2016年 首都大学東京大学院
社会科学研究科経営学専攻
修士後期課程 入学

2020年 東京都立大学大学院
社会科学研究科経営学専攻
修士後期課程 修了 博士（経営学）



現在、山梨県立大学国際政策学部 専任講師

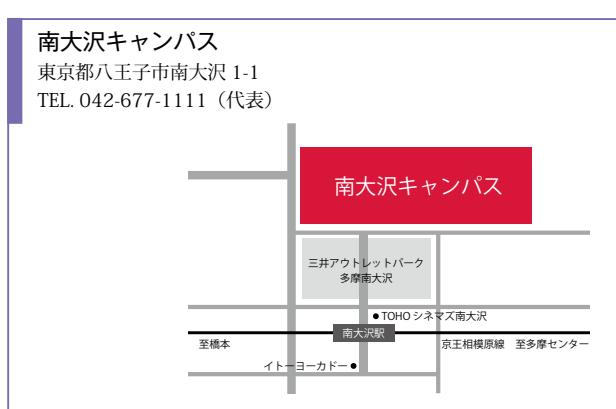
入試概要

- ▶ 募集定員：5名
- ▶ 選考時期：9月（10月入学）と2月（4月入学）に実施
- ▶ 選抜方法：出身大学の成績証明書、英語外部試験（TOEFL、TOEIC または IELTS）のスコア、及び学力試験（修士論文またはそれに代わる研究論文等の審査及び口頭試問）

※ 詳細については必ず募集要項をご確認ください。
<https://www.biz.tmu.ac.jp/examinee/entrance/>

入学定員	2021年度			2022年度		
	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数
5名	15名	6名	6名	11名	8名	8名

アクセス



TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY

東京都立大学

入試関係のお問い合わせ先

東京都立大学管理部
文系学務課 経済経営学部教務係
〒192-0397
東京都八王子市南大沢1-1
TEL.042-677-1111 (内線 1715、1716)

入試関連等の情報は、ホームページにて随時更新して参考ります。

<https://www.biz.tmu.ac.jp>



スマートフォン・タブレット
の方はコチラから